

## 第 102 回国際年次総会パリ大会



1. 日時：2017年7月13日～16日
2. 場所：パレ・デ・コングレ・ド・パリ
3. 参加者：1,993人

日本 73 人（登録者数）

内訳（藤原ガバナー、佐藤次期ガバナー、北里国際理事を始め、  
東京 23、名古屋 9、大阪 2、神戸 8、仙台 6、横浜 1、千葉 1、和歌山 3、  
埼玉 1、西宮 2、熊本 2、静岡 1、鹿児島 3、芦屋 2、大分 5、長崎 4）  
広域代議員 6 人、代議員 9 人

4. 行事 会期中の行事及びその概況は、次のとおりでした。

7月13日（木）

- アジア太平洋の成長戦略、成功例の発表会  
小田 ASPAC 地域 CFG 委員長から ASPAC 全体の状況の報告があり、多田日本地区 SLP 委員長が日本地区における SLP の状況について報告を行いました。
- ASPAC 役員会



湾が 2019 年の ASPAC 大会開催を辞退した外、各国の状況が報告されました。

また藤原ガバナーが 2021 年の ASPAC 大会を仙台へ正式に招致した外（来年のクアラルンプール大会での年次総会で決定）、キワニスソングの制定が披露されました。

- 開会式

オーケストラの演奏に始まり、ジェーン・エリクソン会長の開会挨拶、各国ガバナーの登壇など通常通りの式典が執り行われました。

7月14日（金）当日は、革命記念日であったため、午前中の行事はありませんでした。

- 看板プロジェクト表彰昼食会  
席上、看板プロジェクトの表彰式が行われ、40 の応募活動の中から、日本の「キワニスドール・プロジェクト」が 11 のファイナリストに選ばれましたが、残念ながらメダル獲得はなりませんでした。



- 総会



国際規約改正の審議では、「地区で行われる犯罪身元調査を国際キワニスが行うものと同等とする」という条項を削除する」という議案など2議案が承認された外、4議案が否決されました。

選挙では、

- ・ 会長にジム・M・ロッチフォード氏（アメリカ）が、
- ・ 次期会長にフロレンシオ・C・”ポリ”・ラット氏（フィリピン）が、
- ・ 副会長にダニエル・ヴィニュロン氏（ルクセンブルク大公国ホーバルト）がそれぞれ選出されました。

- ヨーロッパ主催夕食会

メリディアンホテル大ホールで行われた夕食会には日本地区から35人が参加した。

7月15日（土）

- 意見交換会

北里国際理事が日本地区で行われたKコアに基づくホームステイについて報告しました。

- カウンセラーとのミーティング

日本地区カウンセラーのピーター・キンバリー氏とのミーティングでは、佐藤次期ガバナー、伊藤事務総長、米澤成長戦略委員長が出席し、同氏の訪日予定、コミュニケーションの行い方などが協議されました。

（なおキンバリー氏は、パリからの帰途急逝されました。）

- KCF 主催昼食会と年次総会

席上、北里国際理事がメジャーギフト達成で表彰されました。

- 閉会式

- 日本地区夕食会（46名出席）

